

ワシントンバレエ団観劇会報告

企画担当理事
安井真紀

去る3月4日、ケネディセンターのアイゼンハワー・シアターにて、ワシントンバレエ団 (The Washington Ballet) の公演「ジゼル」の観劇会を開催しました。



当バレエ団には、プロフェッショナル・カンパニー・ダンサーの大貫真希さん、木村綾乃さん、宮崎たま子さん、そのほか若手日本人ダンサーが複数所属しています。「ジゼル」の公演は5日間、キャスティングは公演の直前に発表されるどころ、人気の高い土曜日の夜公演に、主役のジゼルをはじめとする主要キャストに日本の方が選ばれたと発表がありました。

それでも故障や怪我でキャストの変更も多いバレエのこと、内心ドキドキしながら迎えた当日。会場がほぼ満席となる中、昨年アメリカン・バレエ・シアターから移籍したジュリー・ケント芸術監督によるクラシックバレエの名作「ジゼル」が幕を開けました。第一幕は明るく華やかな舞台からの暗転、第二幕は幻想的な雰囲気の中、素晴らしいパフォーマンスが繰り広げられました。

公演後、大貫さん、木村さん、宮崎さんにロビーでお目にかかる機会を頂き、参加者の皆様と歓談・写真撮影を行いました。実際にお会いすると、3人とも華奢で小柄で、先ほどまで舞台を所狭しと大きく踊っておられた方とは思えませんでした。一方、海外のバレエ団に所属し、厳しい競争を勝ち抜き、自ら輝く場所を得ている強さと自信も感じました。

今回はイベント募集期間が短かったにもかかわらず、募集定員を超える32名の方にご参加頂きました。バレエ鑑賞は初めてという方もいらっしゃいましたが、これを機に別の演目も観たいという参加者の声もありました。

最後に、今回の観劇会開催にあたりご協力頂きました当バレエ団と関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。